

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 株式会社シーボン 上場取引所 東
 コード番号 4926 URL <https://www.cbon.co.jp/company/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 犬塚 雅大
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 企画本部本部長 (氏名) 小原 稔 TEL 044-979-1234
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,581	△45.1	△724	—	△713	—	△724	—
2020年3月期第1四半期	2,879	—	△34	—	△24	—	△33	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △725百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 △43百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△169.14	—
2020年3月期第1四半期	△7.94	—

(注) 当社は、2019年3月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,375	7,462	79.5
2020年3月期	10,229	8,188	80.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 7,458百万円 2020年3月期 8,183百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	0.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未確定要素が多く、合理的な算定が困難なため未定といたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

非連結子会社であった株式会社クリニメディックは、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、株式会社クリニメディックは特定子会社に該当しないため、上記に記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	4,281,200株	2020年3月期	4,281,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	539株	2020年3月期	539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,281,200株	2020年3月期1Q	4,277,737株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想につきましては、本資料の発表日現在において合理的な算出が困難なため未定としております。詳細は、P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2020年8月7日（金）に、当社コーポレートサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本国内の経済環境は、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた経済活動への深刻な影響により、個人消費が大きく落ち込みました。緊急事態宣言の解除に伴い、消費活動に持ち直しの動きがみられますが、先行きについては、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましても、お客様とスタッフの健康と安全を第一に考え、政府の緊急事態宣言発令を受け、首都圏等都市部を中心に、かつてない規模で直営店舗の臨時休業やイベントプロモーション※1をはじめとする新規集客活動の全面自粛に踏み切りました。

緊急事態宣言発令下においては、フェイシャリスト※2としての経験豊富な人員の臨時配置や送料無料キャンペーンの実施等通販部門の強化を図るとともに、SNSやアプリを活用してセルフケア動画の配信を行う等お客様との接点を保つための機動的な緊急対策を実行してまいりました。5月中旬以降、店舗の営業を順次再開し、感染拡大防止の観点から予約数の制限や非接触型のフェイシャルケアメニューを用意する等、お客様に安心してご来店いただくための対策を行いながらの営業を続けており、6月における継続数※3は前年同月と比べ7割程度まで回復してきております。この結果、当第1四半期連結累計期間の継続数は前年同期比と比べ55.7%減少し、既存のお客様への売上高は1,313,079千円(前年同期比49.0%減)となりました。

また、新規集客活動については、比較的小規模なイベントを中心に感染拡大防止策を徹底しながら再開する一方、集客力の高い大型の協賛イベント再開の見込みは立っておらず、新規来店者数は前年同期と比べ83.0%減少し、新規のお客様に対する売上高は29,491千円(前年同期比81.2%減)となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における直営店舗における売上高は1,356,848千円(前年同期比50.8%減)、連結売上高は1,581,457千円(前年同期比45.1%減)となりました。

利益面におきましては、全社のコスト管理の徹底とコスト構造改革に積極的に取り組んでまいりましたが、売上高の減少幅が大きく、営業損失は724,894千円(前年同期は営業損失34,418千円)、経常損失は713,268千円(前年同期は経常損失24,692千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は724,035千円(前年同期は親会社に帰属する四半期純損失33,951千円)となりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、2021年3月期において、「コスト構造の早期見直し」を図るとともに、当社グループが持つ経営資源を有効活用した戦略的事業展開を推進し、チャネルの垣根を越えた顧客誘導体制の構築を目指してまいります。2021年3月期より開始予定でありました新たな中期経営計画につきましては、現状では未確定要素が多いため、経営環境の大幅な変化を踏まえ、計画を見直しております。

※1 イベントプロモーション

: 新規顧客獲得のために、サロンにおけるトライアルプランにご予約いただけるように、イベントブース等で簡易の肌チェックを通じてシーボンをご紹介するプロモーション活動

※2 フェイシャリスト

: シーボンのフェイシャリストサロンで、顧客をサポートするために化粧品の販売や美容アドバイス、東洋式フェイシャルケア等を行う専門スタッフ

※3 継続数

: 1カ月に1回以上来店のあるお客様ののべ人数

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は4,061,050千円となり、前連結会計年度末に比べて854,515千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比942,327千円減)、原材料及び貯蔵品の増加(前連結会計年度末比100,140千円増)によるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は5,314,795千円となり、前連結会計年度末に比べて400千円増加いたしました。その主な要因は、建物及び構築物の増加(前連結会計年度末比4,288千円増)、その他有形固定資産の減少(前連結会計年度末比9,183千円減)、投資その他の資産の増加(前連結会計年度末比6,919千円増)によるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は1,327,896千円となり、前連結会計年度末に比べて122,256千円減少いたしました。その主な要因は、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比66,746千円減)、その他流動負債の減少(前連結会計年度末比90,360千円減)によるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は585,184千円となり、前連結会計年度末に比べて6,082千円減少いたしました。その主な要因は、資産除去債務の増加(前連結会計年度末比6,706千円増)、その他固定負債の減少(前連結会計年度末比11,338千円減)によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の残高は7,462,765千円となり、前連結会計年度末に比べて725,775千円減少し、自己資本比率は79.5%(前連結会計年度末は80.0%)となりました。その主な要因は、利益剰余金の減少(前連結会計年度末比724,548千円減)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、現時点では適正かつ合理的な算定が困難であることから、引き続き未定としております。来店客数の動向やイベント緩和時期等を注視し、一定の合理的な前提を置くことが可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,153,682	2,211,354
受取手形及び売掛金	685,668	681,499
商品及び製品	404,205	371,941
仕掛品	70,405	106,793
原材料及び貯蔵品	407,724	507,865
その他	194,137	181,857
貸倒引当金	△257	△262
流動資産合計	4,915,566	4,061,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,118,665	2,122,954
土地	1,385,337	1,385,337
その他(純額)	326,736	317,552
有形固定資産合計	3,830,739	3,825,844
無形固定資産		
投資その他の資産	103,724	102,100
その他	1,402,930	1,409,850
貸倒引当金	△23,000	△23,000
投資その他の資産合計	1,379,930	1,386,850
固定資産合計	5,314,394	5,314,795
資産合計	10,229,960	9,375,846
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,520	96,937
1年内返済予定の長期借入金	5,800	5,800
未払法人税等	89,035	22,288
ポイント引当金	426,986	439,981
資産除去債務	6,556	2,993
その他	850,256	759,895
流動負債合計	1,450,153	1,327,896
固定負債		
長期借入金	20,300	18,850
資産除去債務	328,167	334,874
その他	242,798	231,460
固定負債合計	591,266	585,184
負債合計	2,041,420	1,913,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	483,930	483,930
資本剰余金	367,830	367,830
利益剰余金	7,176,822	6,452,273
自己株式	△1,232	△1,232
株主資本合計	8,027,351	7,302,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	161,744	161,870
為替換算調整勘定	△5,215	△6,568
その他の包括利益累計額合計	156,529	155,302
新株予約権	4,660	4,660
純資産合計	8,188,540	7,462,765
負債純資産合計	10,229,960	9,375,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,879,444	1,581,457
売上原価	637,677	499,528
売上総利益	2,241,766	1,081,929
販売費及び一般管理費	2,276,184	1,806,824
営業損失(△)	△34,418	△724,894
営業外収益		
受取利息	49	42
受取配当金	1,654	1,846
受取家賃	7,572	7,469
その他	1,157	2,424
営業外収益合計	10,433	11,783
営業外費用		
支払利息	—	29
社宅等解約損	—	120
為替差損	699	—
その他	6	8
営業外費用合計	706	157
経常損失(△)	△24,692	△713,268
特別利益		
固定資産売却益	1,028	—
投資有価証券売却益	2,377	—
特別利益合計	3,406	—
特別損失		
固定資産除却損	624	0
減損損失	—	3,370
特別損失合計	624	3,370
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,910	△716,638
法人税、住民税及び事業税	16,587	16,589
法人税等調整額	△4,545	△9,192
法人税等合計	12,041	7,397
四半期純損失(△)	△33,951	△724,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△33,951	△724,035

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△33,951	△724,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,704	125
為替換算調整勘定	1,089	△1,352
その他の包括利益合計	△9,614	△1,226
四半期包括利益	△43,566	△725,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,566	△725,262
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。